

成幸利根株式会社の新型掘削機『MPD-45R』開発について

成幸利根株式会社（代表取締役社長 太田満）は、特殊条件下（低空・狭隘）での場所打ち杭の築造工程を、1台で可能にする低空頭リバース掘削機「MPD-45R」を開発致しました。

1. 開発経緯

従来の場所打ち杭工事（TBH工法）では、口元管の設置は深礎工法にて設置する方法が一般的であり、地下水位によっては薬液注入などの補助工法が必要でした。

今回開発した低空頭リバース掘削機「MPD-45R」は、口元管の施工と場所打ち杭工事の一連の作業工程を1台で施工することを実現しました。従来工法と比較すると、口元管設置工費を25%削減し（直径φ2,000長さ5,000mmで試算）、また、移動式クレーンが設置不可能な、低空で狭隘な現場に適しています。

2. 特長

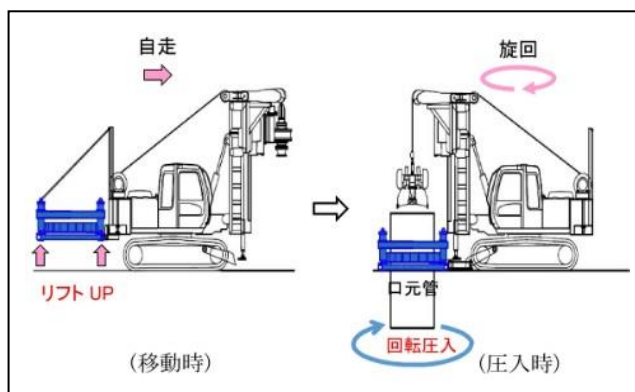
- ◇ 口元管の圧入・引抜を含む場所打ち杭築造工事を1台で実現
- ◇ 全旋回ジャッキを後方で抱えて、自走が可能
- ◇ 油圧バケットにて口元管内の土砂掘削が可能
- ◇ 口元管設置工費25%削減
- ◇ 低空で狭隘な現場での施工が可能

3. 商品説明

低空頭リバース掘削機 重量：17.3t L6,470mm x W2,490mm x H4,715mm/4,180mm (1,500mm/1,000mm ロッド使用時)
 全旋回ジャッキ 重量：5.2t W2,400 x D3,400mm x H1,150mm 口元管適用径最大2,000mm



MPD-45R 全体写真



走行・据付イメージ図

4. お問い合わせ

成幸利根株式会社	技術開発部	北崎 誠	TEL03-5645-3232
ヒロセ株式会社	社長室	水谷真由美	TEL03-5634-4505

以上